

本時のねらい ジェスチャーあいさつゲームを通して、世界の国々のあいさつの仕方を知り、あいさつのマナーを大切にして、コミュニケーションを図ろうとする。

本時の展開 ( 2 / 3 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
導入	1. Warm-up ・ Hello / Good morning 担任と児童とであいさつする ・ Let's Chant "Hello Chant" を行う。 Hello. ×Hello. × My name is ~.× Nice to meet you. ( ×は手拍子)  2. ALT's Time ( 評価の観点 ウ ) (1) 写真を使いながら国の紹介をするのを聞く。 (2) あいさつとその際のジェスチャーからどこの国のあいさつか予想し、英語ノート P 6 に番号を記入する。(英語ノート1 P 6 Activity)  3. Activity ( 評価の観点 イ )	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           イ 外国語への慣れ親しみ            自分の名前を伝えたり、相手の名前を尋ねたりしようとしている。  <b>【観察】</b>            ウ 言語や文化に関する気付き            言葉だけでなく、各国独自のジェスチャーの違いに気付いている。  <b>【観察・英語ノート】</b> </div>
課題	<div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;">             マナーを大切にしながら、あいさつしよう。           </div>	<b>各過程における配慮事項</b>
展開	(1) 教師によるスキットを見て、大切にしたいことに気付く。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             あいさつゲーム              A: Hello, my name is ~. Nice to meet you.              B: Hello, my name is ~. Nice to meet you, too. (ジェスチャーを入れながら)              A&amp;B: Good-bye.           </div>	学習活動 1 について クラスを分けて、役割分担をしてチャンツをしてもよい。 A: Hello. Hello. My name is ~. B: Hi. Hi. My name is ~. Nice to meet you. 学習活動 2 について 紹介してもらう国は P 6 の絵に出てくる国の中から選ぶ。例えば、インドなら服(ターバン)・食べ物などの写真を準備する。その後 CD を聞いてどこの国のあいさつかを当てるクイズに取り組み、あいさつの仕方が国によってちがうことに気付かせる。
評価	(2) みんなと英語でマナー(右の枠内の大切にポイント参照)を意識しながらあいさつする。(英語ノート1 P 7 Activity2) ・ ペアをみつけて、あいさつする。 ・ 相手をさがして、次々あいさつする。  4. Evaluation (1) 自己評価をする ・ あいさつで大切なことを守ってあいさつした。 ・ 国によっていろいろなあいさつの仕方があるのがわかった。 (2) 相互評価をする。 ・ さんが笑顔で話しかけてくれて、うれしかった。 ・ さんが、大勢の子にはっきり話していた。 (3) 教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。 ・ さんが相手を見つけて、手をふりながら、あいさつしていたのがよかった。	学習活動 3 について スキットを見てから、課題を確認する。スキットでは右の「大切にポイント」を児童が気付けるようにする。活動中には、担任は進んで話しかけられない児童と一緒に回りながら支援をする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             はっきり話す。              アイコンタクト              表情              ジェスチャー(手を振る、握手をする等)           </div> 学習活動 4 について 本時のねらいに関わって自己評価、相互評価、教師による評価を行い、次時への意欲を高めるとともに、教師による評価で学習活動 3 で確認した「大切にすること」のできている子を価値付ける。 学習活動 5 について A L T や H R T が事前についた名刺を見せ、見通しをもたせる。名刺には自分が好きな物を書いてよいことにする。 中学校へつなげるポイント 外国語活動を行う上で、上の「大切にポイント」は、継続して行っていくことである。
	5. 次時の予告を聞いて活動する。 次時の活動で使用する名刺を作る。【一人6枚】( P 8 Activity 1 )	